

経営概要

株式会社vegeta

◆代表者・所在地

谷口 浩一 広島県庄原市

◆設立

平成6年1月

◆経営規模

露地野菜（キャベツ、ダイコン等） 120ha
施設野菜（ベビーリーフ） 1ha
飼料作物 60ha 他

◆従業員数

役員3名、正社員20名、パート・アルバイト20名

◆事業内容

キャベツやダイコン等の露地野菜、飼料作物、もち麦等生産販売に取り組む。



社員の皆さん

1 現状と相談までの経緯

キャベツ等の露地野菜を生産する農業法人として、経営安定化及び従業員の意識向上のため、従業員の人材育成に積極的に取り組んできた。

これまで、人事制度等を整備・運用してきたが、研修制度のような従業員がスキルアップする仕組みが未整備であった。

こうした中、日常的に付き合いのある農業技術指導所の普及指導員から、農業経営・就農支援センターの紹介を受けた。

2 相談内容

従業員を職務経験等をもとに3階級（初級、中級、上級）に分けているが、初級から上級職員へ早期に育成するためどのような取組をすべきか助言を受けたい。

また、職員の研修制度や指導法を整備し、人材育成の仕組みを確立したい。

3 支援内容

■支援チームによる支援方針の策定

社内で完結できる研修制度の確立に向け、現状の課題分析・仕組みの検討、運用支援が必要であることから、支援チームを編成し、支援方針等を策定した。

■専門家派遣を通じた助言

支援方針に基づき、普及指導員が中心になり、専門家と調整をした。相談者の課題解決を図るため、経営コンサルタントの派遣を実施することで、社内で完結できる研修制度案を作り、1年間の試行を通じて、問題点や課題を洗い出し、改善を加えて完成させることができた。

・研修体系の確立支援（経営コンサルタント）

研修制度案の作成と1年間の試行について助言を行い、社内で完結できる研修体系の確立につながった。

・相談者と専門家との橋渡し（普及指導員）

社内の状況を的確に把握し、経営コンサルタントにつながり、相談者が求める人材育成の考え方に沿った研修制度が確立できた。

支援チーム構成員：

経営コンサルタント、普及指導員

[株] vegeta 研修計画（人材育成）		代表取締役 谷口 浩一		作成： ●●●●●●●● 承認： ●●●● 作成： ●●●●												
責任者		●●		"役割" vegeta社、社長と相談の為に策定に参ります												
承認者		●●		"人材" 企業として継続的に研修制度で人材育成を策定する。本気で社員を育てようとしている企業である												
研修担当		●●●●●●●●●●														
資料/記録		●●●●														
企画/進行		●●														
研修内容		担当	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	備考
1	谷口社長の経営方針 (vegetaの目指す姿、人材育成の取り組み姿勢)	全員	●●				6.12	→								
2	作業安全、事故対応力 (安全衛生活動、緊急連絡網、指導者の重要性)	全員	●●				6.12	→								
3	福利厚生、社内ルール、働く環境調査 (各種イベント、vegeta独自のルール、アンケート)	全員	●●				6.12	→								
4	機械/器具の扱い (正しい使い方、設備の点検・整備)	全員	●●				6.12	→								
5	基本的ビジネスマナー (社外人シミュレーション、挨拶、あいさつ、言葉遣い)	全員	●●				6.12	→								
6	報告、連絡、相談 (社員が持っている力を100%出すために)	全員	●●									10.17	→			
7	SS/生産工程管理 (経営戦略心構え、SS実行心得/生産現場/事務所/運転)	全員	●●										11.12	→		
8	ファシリテーター養成講座 (考える組織、全員が持ち場で考えて行動する)	全員	●●											11.12	→	
9	振り返り活動/総括 オンライン (研修活動の振り返り、来期の人材育成研修へ)	全員	●●													12.16

試行と改善により社内で完結できる研修制度の確立

■ 支援を受けて・・・

研修制度をより充実させ、職務経験等に基づいた職員の階層別（初級・中級・上級）の研修制度に発展できた。

また、研修試行中、参加した職員から出た社内環境の改善提案から、社内報の定期発行が実現した。

■ 今後の経営展開

毎年入社してくる複数名の新入職員に対して、社の方針や仕事への接し方、社会人としてマナーや安全や健康に関する知識、スキル等の初級研修を実施していきたい。

また、中堅職員には中級研修、監督者には上級研修を実施し、階層に応じた考え方、知識やスキルの習得を促していきたい。



研修試行時のミーティングや安全教育の様子

喜びの声

生産面積の拡大に伴い、従業員数が増えていく中で、社内の人事評価や研修制度については、どのように取り組むべきか分からない状況でした。

この度は支援制度を通じて、専門的な知識を得て、大規模経営農業法人として弊社独自の研修制度を作ることができました。実践的なアドバイスをいただけたため、支援後すぐに新入社員研修と社内報の発行へとつながりました。

今後は研修や人事評価の方法を、より良いものにしていくよう、更に学んでいきたいと思います。

ありがとうございました。

専属スタッフ所感

経営者の人材育成の方針である「企業として継続的に研修制度で人材育成を実行する。本気で社員を育てようとしている企業である。」を前提に、研修を（株）vegetaと社員が協働で研修を実行できるよう助言を行いました。

研修制度の目指す姿は、①現場を重視する姿勢（現場、現物、現実）②自己完結できる研修（（株）vegetaで実施できる）としました。

今後の自社での研修、生産工程管理活動により大きな成長（企業の強化・拡大）を達成することが期待できます。

<支援機関> 広島県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営相談】

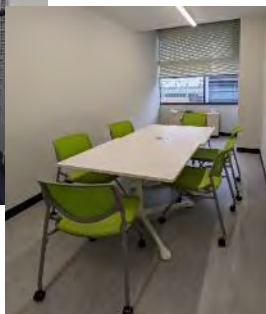
住 所：広島県広島市中区基町10番52号
広島県庁 本館4階 農業経営発展課
電話番号：082-513-3594
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8:30～12:00 13:00～17:15

【就農相談】

住 所：広島県広島市中区基町10番52号
広島県庁 本館4階 就農支援課
電話番号：082-513-3532
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8:30～12:00 13:00～17:15



経営相談・就農相談窓口入口
（広島県庁）



本県の特徴ある優れた品質の農畜産物を安定的に生産するとともに、魅力ある農村及び地域社会を維持し、本県農業が持続的に発展していくために、高い生産性と収益性を持つ経営力の高い経営体を育成するとともに、新規就農者等の農業を担う者を確保・育成に向け、さまざまな支援を行っています。